



18 さいまでの子どもがつながる  
チャイルドライン®

特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター(認定NPO)

日本のチャイルドラインが  
活動を始めてから24年

毎年多くの電話・チャットを受け  
気持ちを聴き、寄り添い  
子どもが自分自身で一歩前に進むことを  
サポートしています。



# 子どもの状況

---

- 子どもの自死 499人（2020） → 過去最多の 514人  
（2022厚生労働省）
- 子どもの貧困率 13.5%（2019） → 15.7%  
（2021厚生労働省）
- 小中学校の長期欠席者 28.7万人（2020） → 41.3万人  
（2021文部科学省）
- いじめの認知件数 51.7万件（2020） → 61.5万件  
（2021文部科学省・ 小・中・高・特別支援学校）

あらゆる暴力による被害をなくすために  
子どもたちに、母親・父親になるひとに  
あたりまえの「人権」について伝えたい・考えてもらいたい

---

いじめ・虐待・自死・・・すべて暴力です

多様性を認め合い、ありのままが受け入れられ

自分らしく生きていける社会

否定せず、聴くことのできる社会に・・・

**否定せず、聴くことのできる社会**

**そのためにチャイルドラインは  
何をしているのか**

## 「チャイルドライン」の聴く活動

---

- 電話相談(フリーダイヤル・ネットでんわ)  
毎日 16時～21時
- オンラインチャット相談  
毎週 水・木・金・土曜日 16時～21時
- 「つぶやく」  
24時間HP上から匿名で書き込める場所

# 「チャイルドライン」の聴く活動

---

- 全国70実施団体(拠点)が協働  
約1,800人のボランティア
- 子どもとつながる 「受け手」
- 受け手をサポート・スーパーバイズする 「支え手」
- 個人でなく組織での相談運営

## 電話・チャット・「つぶやく」の状況

---

- 「フリーダイヤル」着信数 **18万件** 会話成立 **4万3千件**
- 「チャット」書込み件数 **3万2千件** 対応件数 **1万2千件**
- 「つぶやく」書き込み件数 **2万件**

### チャイルドラインにつながる動機

話を聴いてほしい **80.3%**

答えが欲しい **12.5%**

誰かとつながっていたい **4%**



# 子どもの声

---

●人間関係ってどうしてこんなにしんどいんですか？

教室のみんなが話してる声が全部私の悪口のように聞こえます。

# 子どもの声

---

● 今日も学校に行けなかった。父親に「逃げるのはずるいよ」って言われた。罪悪感が襲ってくる。だけど、学校に行きたくない理由も分からない。なんかどうでもよくなってきた。YouTube の“ニンジーン”の替え歌を聴いて落ち着く。

# 子どもの声

---

●だれもいないときに、お姉ちゃんのスカートをはいてみたの。保育園のときに友だちとふざけてはいたときのこと忘れられなくて。男だからうっと封印してたんだけど、はいてみたら、すごくいい感じで、なんだかうれしくて電話しました。

# 子どもの声

---

●電話で話しているうちに、自分でもわからなかった心の中の荷物に気がつきました。

チャイルドラインがあって

心の荷物置き場になるから安心です。

# 子どもの声

---

- 自分のことなんか誰かに話したら迷惑だと思っ  
ずっと思っていたけど、言っ  
ていいんだと思え  
て本当にうれししかったです。

# 子どもの声

---

● 助けてって言うのはいけないこと  
ですか？ 大丈夫？って聞かれたら  
大丈夫って言うしかないでしょ？

# 「チャイルドライン」のミッション

---

## 子どもの権利条約に基づき

① 子どもの「声」をうけとめることで

子どもがありのままに安心できる心の居場所をつくる

② 受けとめた「声」を社会に発信し、子どもが生きやす

い社会を目指す

# 国連「子どもの権利条約」

---

子どもは成長発達する存在

生きる権利 育つ権利 守られる権利 参加する権利

● **子どもの最善の利益**の確保

● **子どもの意見を尊重すること = 意見表明権**



**聴かれる権利がある**

- ※ 子どもの最善の利益は子どもに聴かなくてはわからない
- ※ 子どもには「力」がある
- ※ おとなの善かれは子どもの善かれではない



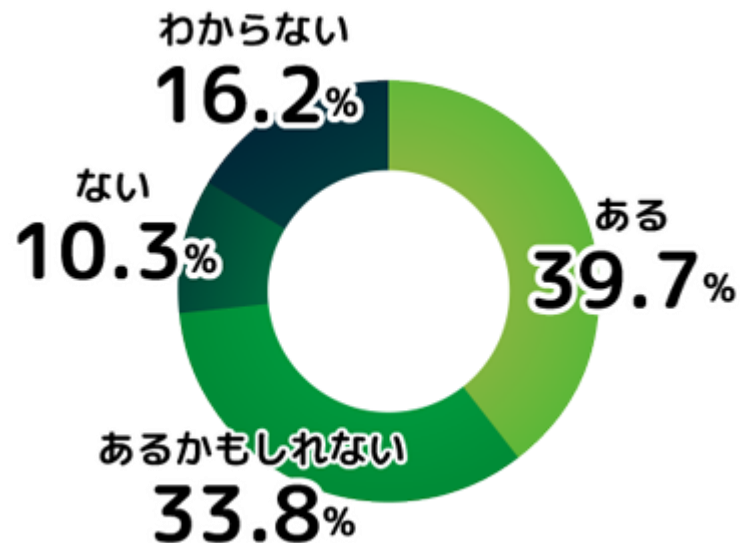
2023年3月厚生労働省 小中高生の自殺者数が過去最多との発表を受け、緊急アンケートを実施

「おとなは何ができるのか、なにをしないといけないのか」

「**子どもの話をきく**」という回答が最多。

ただ「きく」のではなく

「**否定せずに**」きいてほしい



子どもの望む聴き方ができていない。

自殺をなくすためには、まずは身近な大人である保護者や先生が、日頃から子どもの話を聴くことが何より大事

それが大きな予防策

**チャイルドラインはどう聴いているのか**

# 「チャイルドライン」の姿勢・・・傾聴・アクティブリスニング

---

## 自分で解決への一歩を踏み出すことへのサポート

- 子どものペースに合わせて聴く
  - 否定しないで聴き、受けとめる
- 一緒に考える
  - 気持ち・考えの整理につきあう
- 子どもの考えを尊重する＝大人(自分)の経験を押しつけない



# 聴いてもらった子どもはようになるか

---

- ありのままの存在が肯定される（自己肯定感UP）
- 生きていていいと思える
- 周囲にSOSをだせるようになる
- 信用できる大人の存在を知る

子どもの最善の利益は、子どもが考える

おとなの善かれは子どもの善かれではない

**日本の未来のために  
子どもの生きやすい社会について  
チャイルドラインと一緒に考えてください**

